

WCS用稲奨励品種「つきすずか」で 収益アップを目指しましょう



令和3年3月 栃木県 畜産振興課

つきすずかについて

- 縞葉枯病に強い
- 粃が少なく、茎葉が多い
- 倒伏に強い
- 糖含量が高く、発酵品質がよい
→ 嗜好性が良い



稲WCSの奨励品種特性表

品種名	早中晩	稈長 (cm)	地上部 乾物全重 (kg/10a)	粗玄米重 (kg/10a)	耐倒 伏性	耐病性		耐冷 性	脱粒 性	適用地帯			利用適性	
						いもち 病	縞葉枯 病			県南	県央	県北	稲発酵 粗飼料	飼料用 米
夢あおば	早	87 (95)	1,980 (1,932)	710 (750)	強	不明	抵抗性	やや 弱	難	◎	◎	◎	◎	◎
★つきはやか	早	105 (112)	2,103 (1,973)	304 (367)	強	強	抵抗性	強	難	◎	◎	◎	◎	×
つきあやか	中	110 (117)	2,131 (2,071)	150 (81)	強	強	抵抗性	やや 強	難	◎	◎	◎	◎	×
★クサホナミ	晩	100 (106)	2,234 (2,166)	877 (806)	強	不明	抵抗性	—	難	◎	◎	○	◎	○
つきすずか	極晩	134 (122)	2,966 (2,824)	9 (61)	強	不明	抵抗性	弱	難	◎	◎	◎	◎	×

注) (1)★は認定品種

(2)基肥窒素量 12kg/10a

(3)数値は、農業試験場で調査した平成27～令和元年度の平均値(5月移植、栽植密度22.2株/m²)、つきはやかは平成29～30年度と令和2年度の平均値、つきあやかは平成29～令和元年度の平均値、つきすずかは平成27～29年度の平均値。

()内の数値は6月移植のデータ。

「つきすずか」栽培のポイント

- 早植え、多肥栽培により収量増。
- 晩植や基肥を控えると穂が長く粃が多くなる。
- 株間は 50 ～ 60 株 / 坪で設定。
密植は倒伏につながるのを避ける。極端な疎植も避ける。
- 出穂後 30 日以降 40 日頃まで糖含量が増加。90 日まで高い値を維持。

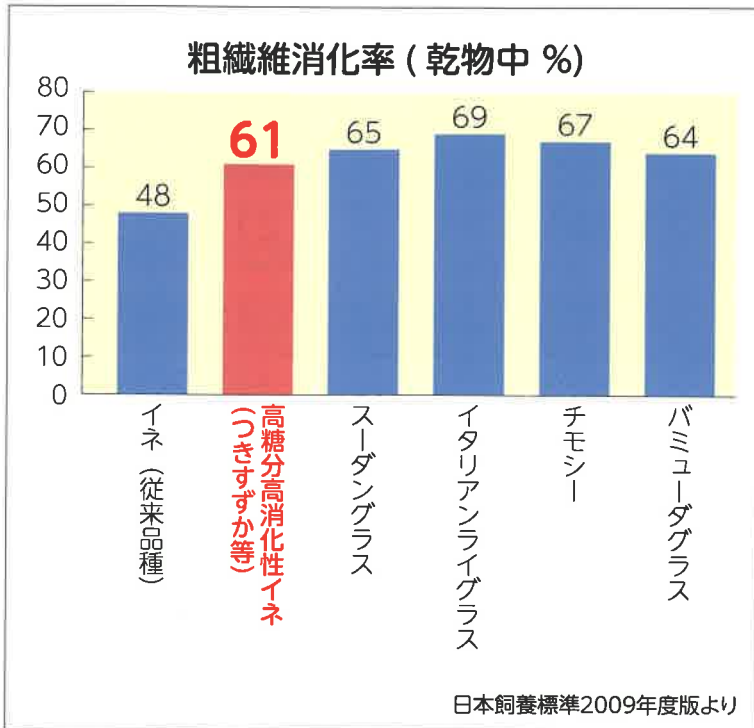
「つきすずか」栽培暦																											
月 旬 区分	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業	種子予措 播種 育苗 移 植						※栽植密度：50～60株/坪 (密植は倒伏につながるのを注意)						出穂			30～40日後			収 穫			耕 起					
	種子予措 播種 育苗 移 植												出穂			30～40日後			収 穫								
病害虫防除	種子消毒 薬剤処理または 温湯消毒			播種時または播種前 床土消毒			移植2日前～移植 箱施用剤散布						本田防除 (発生に応じて) イネツトムシ、カメムシ、フタオビコヤガ、 ヨコバイ類、ウンカ類、稻こらじ 等														
							深水：移植後5～7日 浅水：上記以降 分けつ確保 まで浅水						間断かん水			中干し			間断かん水			落水：出穂10日後、収穫20日前					
肥培管理	堆 肥 3～4t/10a			基 肥 (窒素10kg/10a)									追 肥 (必要に応じ窒素3kg/10a)						堆 肥 [※] 3～4t/10a ※3月中旬までに散布								
													※堆肥成分と肥効をもとに化学肥料を調整し、 施肥設計を行いましょ														

- 稈長が長く茎が太いため、
コンバイン型専用収穫機は
適さず、フレール型収穫機
やモアコンディショナー等
での刈り取りに適している。

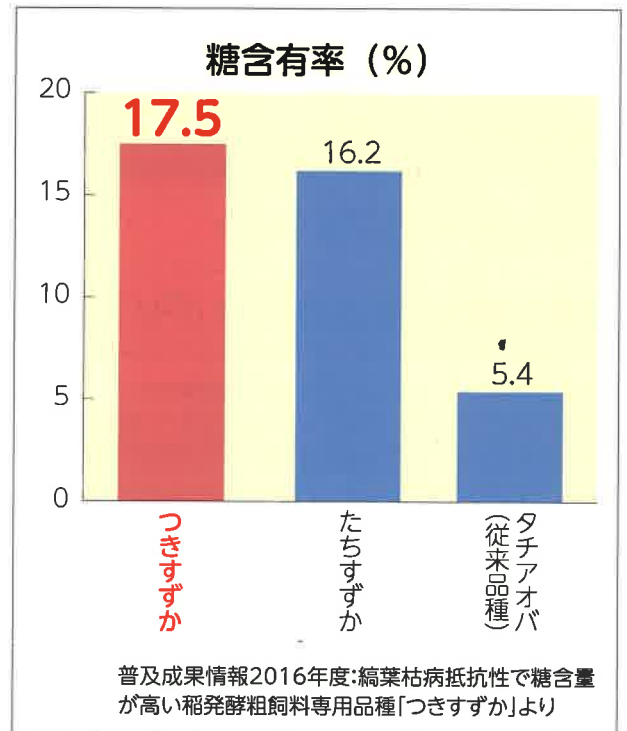


「つきすずか」給与のポイント

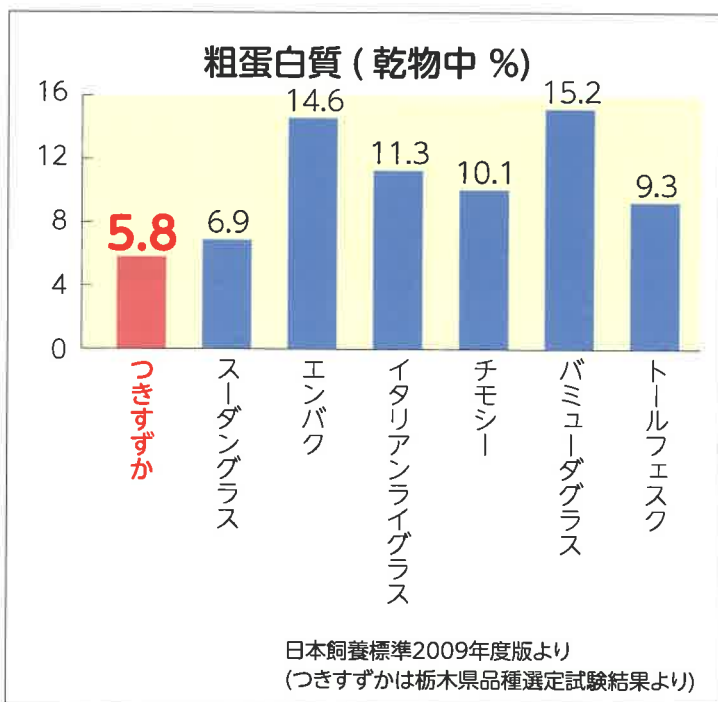
- 従来の稲 WCS と比べて繊維の消化率が高い。



- 従来品種と比較して糖含有率が高い。



- 「つきすずか」をはじめとする稲 WCS は粗蛋白質含量が低い
ため、飼料設計時には粗蛋白質を補う必要があります。



- これまで稲 WCS を給与してこなかった牛に対しては、長期間 (2週間以上) かけて、徐々に慣らす必要があります。

「つきすずか」は種子代が高くても 損をしません!!

	つきすずか	一般食用品種 (コシヒカリ等)
種子代(円/10a)	4,000	2,000
肥料・農薬費(円/10a)	23,300	21,900
種苗・肥料・農薬費用計(円/10a)	①27,300	②23,900

※播種量を4.0kg/10aとして試算。割引・諸経費含む。
 ※千田・恒川「水田飼料作経営成立の可能性と条件」農業経営研究(2015)を参照。
 ※つきすずかの種子代は栃木県草地畜産種子協議会の価格表を参照。

「つきすずか」の方が3,400円(円/10a)支出(種子代等)が多い(①-②)

コントラクターが耕種農家から原物11円/kgで購入する場合の試算

	つきすずか	一般食用品種 (コシヒカリ等)
ロールベール出来高数(個/10a)	8~13	5~6
原物収量(kg/10a)	2,400~3,900	1,500~1,800
③WCS調製資材費(円/10a)	5,600~9,100	3,500~4,200
④稲生産物の原物収入(円/10a)	26,400~42,900	16,500~19,800
④原物収入-③資材費	⑤20,800~33,800	⑥13,000~15,600

※つきすずかの収量は県内展示ほの結果等を参照。
 ※ロールは約300kg/個、水分約65%、1ロールを試算するのに700円として計算。

「つきすずか」の方が5,200~20,800(円/10a) 収入が多い(⑤-⑥)

「つきすずか」を生産する方が、食用品種を生産するより、
1,800~17,400(円/10a)収益が多い試算となります。

お問い合わせ先：畜産酪農研究センター 企画情報課 TEL：0287-36-0768
 各農業振興事務所 経営普及部 最寄の事務所にお問い合わせください
 経営技術課 技術指導班 TEL：028-623-2321
 畜産振興課 環境飼料担当 TEL：028-623-2350